

あいさつ運動の事例

浅口市立六条院小学校

(児童数 374 名 教職員数 39 名)

ハッピースマイルプロジェクト！

～ 6年生で結成されたあいさつ実行委員会による取り組み ～

アピールポイント

本校では、小中連携で朝のあいさつ運動に来ていた中学生から届いた手紙をきっかけに、12月に6年生による「あいさつ実行委員会」が結成されることとなった。そして、その実行委員会から全校児童に向けて「ハッピースマイルプロジェクト（略してハスプロ）」と銘打ったあいさつ運動への取り組みが宣言され、6年生児童の提案による取り組みが始まった。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

12月の時点では、進んで挨拶ができる児童は限定的であった。他の児童は、挨拶を誰かにされたら返事ができる程度で、全体として進んで挨拶ができている状態とは言えないものだった。

■活動内容

まず、6年生のあいさつ実行委員会（以下ハスプロメンバーと略）が児童朝会で全校児童に向かって、ハスプロ活動の開始を宣言した。以後、ハスプロメンバーは毎朝、校門から校舎入り口までの間の数カ所に、担当を決めて立ち、率先して挨拶の声を響かせた。

ハスプロメンバーからは、児童朝会ごとに、その週の「あいさつの目標」が提示され全校児童が積極的に挨拶ができるように呼びかけを続けた。

■取組の参加メンバー

児童（6年生有志によるあいさつ実行委員会）が中心となって実施。

■成果・効果

ハスプロメンバーを中心として、6年生児童がまず率先して挨拶を行うようになった。それに伴って、下学年児童の挨拶の声も徐々に積極的な挨拶の声へと変化していった。登校時の学校敷地内での挨拶の声は、活動の成果が十分感じられるような挨拶の声（積極性が感じられる挨拶の声）になってきたため、1月第2週からのハスプロメンバーによる挨拶の目標は「家庭や地域の方に進んであいさつをしよう」となり、現在は学校外での挨拶に意識の重点を置いた活動となっている。